

12. 比べ方を考えよう(1) [単位量あたりの大きさ] 単元計画【新しい算数5下 東京書籍】

単元の目標	(1)異種の2量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。 (2)異種の2量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 (3)速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考察した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。																			
単元の評価規準	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
	①異種の2量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解している。 ②速さや単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。			①異種の2量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考察し、それらを日常生活に生かすことができる。			①速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。													
小単元	1 (1)こみぐあい		2 (2)いろいろな単位量あたりの大きさ		3		4		5 (3)速さ		6		7		8		9		10	
目標	面積も匹数も異なる場合の混み具合の比べ方を理解し、比べる。 (教科書P.26~28)		面積も匹数も異なる場合の混み具合の比べ方を理解し、比べる。 (教科書P.29)		人口密度の意味とその求め方を理解する。 (教科書P.30)		単位量あたりの大きさを用いて、問題を解決することができる。 (教科書P.31)		速さは単位量あたりの大きさの考えを用いて表せることを図や式を用いて考え、説明する。 (教科書P.32~34)		速さを求める式を理解し、それを適用して速さを求めることができる。時速、分速、秒速の意味を理解する。 (教科書P.35~36)		道のりを求める式を理解し、それを適用して道のりを求める。 (教科書P.37)		速さと道のりから時間を求める方法について考え、説明する。 (教科書P.38)		学習内容の定着を確認するとともに、単元の学習を振り返り価値付ける。		単元末テスト	

毎時の評価規準 (○指導に生かす評価 ●記録に残す評価 ※①②は単元の評価規準を参照)

知識・技能【知】	①	○単位量あたりの大きさを用いて比べることの意味を理解し、混み具合を比べることができる。	①	○人口密度の意味を理解し、人口密度を求めることができる。	②	●速さを求める式の意味を理解し、速さを求めることができる。 ○時速、分速、秒速を理解し、求めることができる。	②	○速さを求める式を用いて、速さと時間から道のりを求めることができる。	①	○道のりを求める式を用いて、速さと道のりから時間を求めることができる。	②	●単元で学習したことを基に、問題を解決することができる。	
思考・判断・表現【思】	①	○混み具合の比べ方を、面積と匹数の関係に着目して図や式を用いて考え、比較することができる。			①	○単位量あたりの大きさを用いて、2つの資料を比べ、問題を解決することができる。	①	○速さを求めるときに使う2量に着目し、速さを求める式に表すことを考え、問題を解決することができる。		①	○道のりを求める式を基にして、時間の求め方を図や式を用いて考え、説明することができる。	①	●数学的の着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。
主体的に学習に取り組む態度【主】	①	○混み具合は2種の割合として捉えられる量であることに気付き、図を使って、面積、匹数が異なる場合の混み具合の比べ方を考えようとしている。			①	○速さの比べ方を、時間と距離の2量を基に、単位量あたりの大きさの考えを用いて考えようとしている。						①	●単元の学習を振り返り、価値付けたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。

学習の流れ(目安:分)と学習形態(★前時に課した家庭学習との関連、※デジタルドリル活用 △教科書の問題番号)

家庭学習時間	※共通ドリル(5年5-3)	※共通ドリル(5年13-1)	※A1ドリル(5年12-1)	※共通ドリル(5年13-2,13-3)	※A1ドリル(5年12-2)	※共通ドリル(5年13-9)	※A1ドリル(5年12-3)	※共通ドリル(5年13-12)	※A1ドリル(5年12-4)	※A1ドリル(5年12-まとめ)
0	①混み具合は、面積と匹数で決まることを確認する。	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①速さを比べるには、時間と距離の2量に着目することを押さえる。	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①<★前時の確認>(習熟タイムや家庭学習で、つまずきが見られた問題)	①C B T 単元テスト【知】(単位量あたりの大きさ)
5	②3つのうさぎ小屋A、B、Cについて、面積と匹数が異なるときの混み具合の比べ方を考える。【主】	②A、C、Dの混み具合を比べる。比べる対象が多いときでも、混み具合を一度に比べられる方法を考える。	②「人口密度」の意味を知り、北海道と沖縄県の人口密度を比べ、混んでいると言える根拠を説明する。	②1aあたりの取れた米の重さに着目して根拠を説明する。【思】	②前時までの米の取れ具合の比べ方について確認する。	②1時間当りに進む道のりを求めて、速さを比べる。	②時速70kmで3時間進むことを、言葉や数直線で表現する。	②時速25kmで400kmを進むことを、言葉や数直線で表現する。	②「パフォーマンス課題」避難地区の割り当てについて、人数と面積を基に判断する。【思・ループリック評価】	
10	③AとB、BとCを比べ、面積か匹数のどちらかがそろっていると混み具合が比べられることを押さえる。	③単位量あたりの大きさを混み具合を調べられることをまとめる。	③適用問題に取り組む。【知】教科書P.30△1	③適用問題に取り組む。教科書P.31△2	③時間も距離も異なる場合の速さの比べ方を考える。【主】	③(速さ)=(道のり)÷(時間)で表すことを確認する。	③速さと時間から道のりを求める。【知】	③「速さ」と「道のり」からかかる時間を求め、式の意味を説明する。【思】	③適用問題に取り組む。教科書P.38△3【知】	
15	④面積と匹数を基にAとCを比べる。【思】	④適用問題に取り組む。【知】教科書P.29⑤	④適用問題に取り組む。	④《パフォーマンス課題》提示された課題を把握する。	④式や数直線を使って、速さの比べ方を説明する。【思】	④時速、分速、秒速の意味を知る。	④式の数値と言葉に対応させながら、道のりを求める式の意味を説明する。	④速さ、道のり、時間の求め方を統合的に捉える。	④適用問題に取り組む。教科書P.40△4、5	
20						⑤速さを時速と分速で表す。【思】	⑤習熟タイム・ステップ0	⑤適用問題に取り組む。教科書P.37△2	⑤習熟タイム・ステップ0	
25							⑥共通ドリル(5年13-13)	⑥適用問題に取り組む。教科書P.40△4、5	⑥習熟タイム・ステップ0	
30	⑤混み具合の比べ方をまとめる。	⑤習熟タイム・ステップ0・ステップ1	④習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0		⑦共通ドリル(5年13-17)	⑦習熟タイム・ステップ0	⑦習熟タイム・ステップ0	
35	⑥習熟タイム・ステップ0・ステップ1	⑥共通ドリル(5年13-18)	④習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0		⑧共通ドリル(5年13-11)	⑧習熟タイム・ステップ0	⑧習熟タイム・ステップ0	
40	⑥習熟タイム・ステップ1	⑥共通ドリル(5年13-19)	④習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0		⑨共通ドリル(5年13-11)	⑨習熟タイム・ステップ0	⑨習熟タイム・ステップ0	
45	⑥習熟タイム・ステップ2	⑥共通ドリル(5年13-19)	④習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0	⑤習熟タイム・ステップ0		⑩共通ドリル(5年13-11)	⑩習熟タイム・ステップ0	⑩習熟タイム・ステップ0	